

よりよい広報紙を目指し、タブロイド判に
来月から「広報小田原」が変わります
～A4判 21年の軌跡～



P2 「市民の力で未来を拓く希望のまち」の実現へ

P6 住吉橋の架け替え 5月9日(火)～平成30年3月末は通行できません

P7 4月1日から 市役所の新しい組織・機構

市民の力で 未来を拓く 希望のまち の実現へ

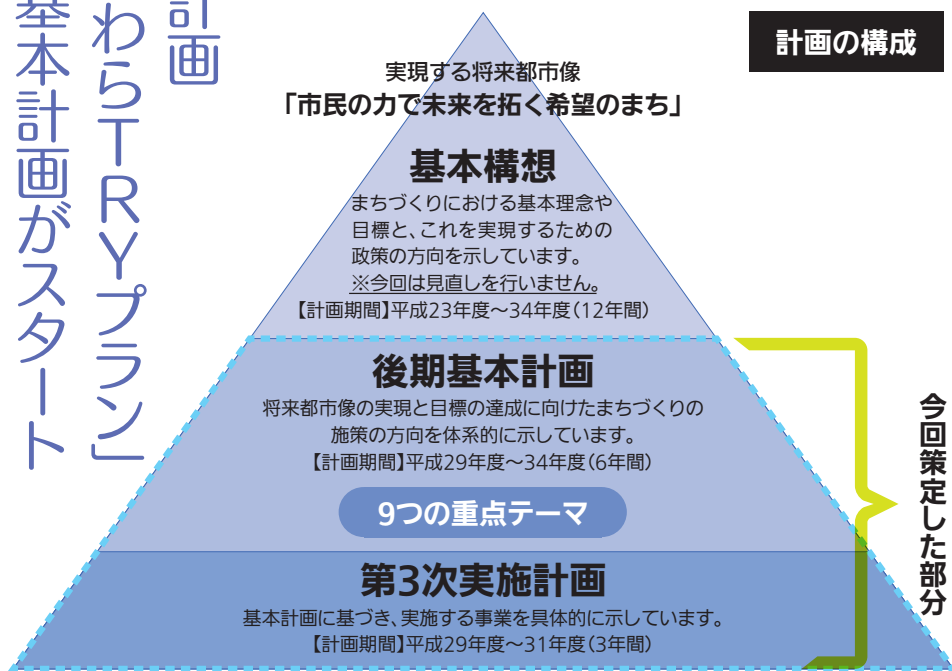
市民と行政が目標を共有し、ともに取り組んでいくための総合計画「おだわらTRYプラン」。

地域の皆さんが話し合い、課題解決のため、自らが取り組むべき活動をまとめた「地域別計画」。

この二つの計画が一对となり、本市のまちづくりを進めています。

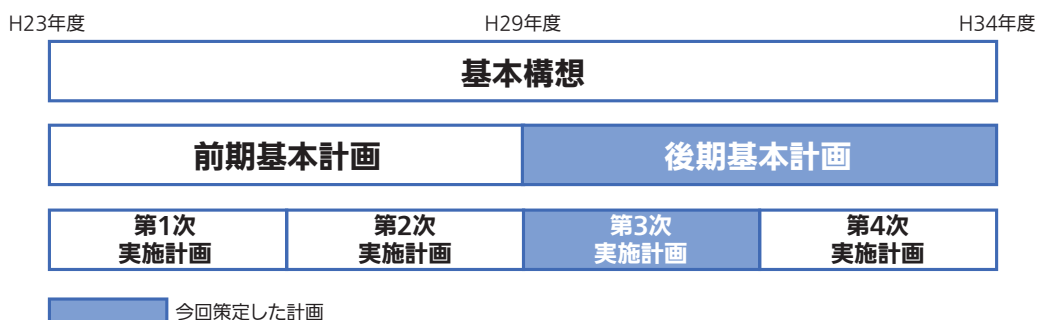
このたび、「おだわらTRYプラン」後期基本計画を策定するとともに、各地域でも「地域別計画」を見直しました。

計画の構成



今回策定した部分

計画の期間



今回策定した計画

総合計画 「おだわらTRYプラン」 後期基本計画がスタート

企画政策課 ☎ 33・1253

平成23年度から34年度までを計画期間とする「おだわらTRYプラン」は、23年度から28年度までを「前期基本計画」として、山積する課題の解決に向けて着実に進めてきました。計画に位置づけた事業について直近の事務事業評価では、成果指標を7割以上達成している事業が、全体の94パーセントとなっています。

一方、人口減少・少子高齢化に伴う問題が現実化してきています。そのため、基本構想で描いた将来都市像「市民の力で未来を拓く希望のまち」の実現に向けた取り組みを加速させ、質を高めていくことを命題として、29年度から34年度までを計画期間とする「後期基本計画」を策定しました。

「地域別計画」の見直し

関 地域政策課 ☎ 33-13389

平成21年度、当時25の自治会連合会の区域ごとに、地域の課題やその解決方法、将来像などを「地域別計画」としてまとめました。

その後、自治会や地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会などの地域の団体などで構成される「地域コミュニティ組織」が設立され、地域別計画に掲げた将来像を実現するための活動を進めてきました。

このたび、「おだわらTRYプラン」後期基本計画の策定に合わせ、各地域コミュニティ組織が中心となり、地域別計画を見直しました。

新たな課題が明確化 さらに高まる まちづくりの意識

地域別計画の見直しの中で、地域のごさまざまな団体にも聞き取りを実施。その結果を踏まえ、何度も協議を重ねました。これまで地域で取り組んできた活動を共有し、今後取り組むべき課題が整理された他、住民同



士の情報共有や交流につながる「広報の充実化」や、「地域で日常生活を支え合う仕組み」など、これまで着手できなかった活動なども、新たに示されました。

また、「課題の優先順位を決め、スケジュールも盛り込んだ実施計画にしたい」といった熱心な意見も、多く交わされました。見直し作業完了後には、「地域別計画に掲げた『めざす姿』の実現に向け、住民一人一人が同じ思いで、地域一丸となってまちづくりを進めていきたい」と語る姿が見られるなど、機運の高まりも感じられました。

見直しの一例

地域別計画（平成21年度策定）

【課題】災害時に、地域でどう対応したらよいか分からない。

【解決策】具体性のある防災マニュアルを作り、備える。

平成22〜27年度の取り組み

役割分担や詳細地図を盛り込んだ防災マニュアルを作り、防災訓練に取り入れ、毎年反省を踏まえ、より実効性の高いマニュアルにする。

地域別計画（平成28年度策定）

【新たな課題】策定したマニュアルが、一部役員にしか浸透していない。
【解決策】マニュアルをより分かりやすく編集し、地域内に広く周知する。

●各項目ごとに設定された課題を、現状に合わせて新たに設定し直し、その解決策を実行していくことになりました。

※見直された地域別計画は、5月以降に市ホームページでご覧いただけます。



「おだわらTRYプラン」後期基本計画 9つの重点テーマと取り組みの方向性

後期基本計画では、「いのちを大切に」希望と活力あふれる小田原「豊かな生活基盤のある小田原」市民が主役の小田原」という4つのまちづくりの目標のもと、9つの重点テーマと取り組みの方向性を示しています。

①豊かな自然や環境の保全・充実

豊かな自然と環境を保全し、磨き上げ、より豊かな状態で次世代へと受け継ぐため、「いのちを守り育てる地域自給圏」を目指します。

【主な取り組み】

- 森里川海が一体となった特徴を生かし、多様な主体の連携による自然環境の保全と再生
- エネルギーの地域自給に向けた取り組みの推進
- いのちを支える食の生産基盤の強化



②課題を解決し、未来を拓く人づくり

子どもからシニアまでが互いに連携しながら、さまざまな取り組みを通じて次代を担う人づくり。「人への投資」を進めます。

【主な取り組み】

- 地域資源を生かした、さまざまな世代の学びの場づくり
- 創業者の発掘・育成・支援の一元的な展開の促進
- プロダクティブ・エイジングの推進



③地域コミュニティモデルの進化

26地区自治会連合会で進められてきた地域まちづくりの成果を礎とし、目指すべき地域コミュニティ像への歩みを進めます。

【主な取り組み】

- 地域コミュニティ像の確立に向けた取り組みの推進
- 子どもの多様な居場所の連携と進化



④いのちを育て・守り・支える

地域社会モデルの中軸となる「いのちを育て・守り・支える」体制の強化に取り組みます。

【主な取り組み】

- 妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援体制の整備
- 未病を改善する取り組みと連携した、健康増進活動の推進
- 地域包括ケア体制づくりとケアタウン構想の推進



⑤「分かち合いの社会」の創造

「よき喜びや楽しみ、苦労や負担も皆で分かち合う社会を築くため、公共サービスの維持や充実に係る「受益と負担」の適正なあり方を見いだし、持続可能性の確保を目指します。

【主な取り組み】

- 行財政改革の推進
- 「分かち合いの社会」づくりの検討とその展開



⑥「観光」による地域経済活性化

小田原の可能性や価値を「観光」の切り口から具現化し、地域経済全体の活性化を進めます。

【主な取り組み】

- 観光戦略ビジョンに基づく観光まちづくりの推進
- 観光分野との連携などによる農林水産業・ものづくりの振興
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックなどを契機とした活性化
- 仕事と暮らし(住まい)をつないだ定住促進



至誠・市政

「TRYプラン、後期6年へ」

小田原市長 加藤 憲一

第5次小田原市総合計画「おだわらTRYプラン」が、「前期」として位置づけられた平成23年度からの6年間を終え、平成29年度から34年度までの「後期」6年間に入りました。

平成20年の市長就任後、直ちに策定に取り組み、本格的な市民参画を経てまとめ上げられた前期計画。そこに位置づけられた587本(※)の実施計画事業は、「7割以上達成」したものが94%に達しており、職員の努力はもとより、市民の皆さんのご理解と協働への熱心な参画もあって、おおむね順調に進んできました。また、並行して全地区でまとめられた「地域別計画」も、当初は「そんなことまで地域がやるの?」といった反応があったものの、数年間に及ぶ各地域でのさまざまな取り組みを通じ、地域コミュニティの充実へ確実につながってきていると感じています。

前期計画の策定作業に取り組んだ頃から数年が経過し、課題解決や地域活性化へのさまざまな動きが進んだ一方で、私たちを取り巻く社会状況は刻々と変化し、人口減少や高齢化のさらなる進行、さまざまな分野における担い手の高齢化と不足、公共施設や各種インフラの待ったなしの老朽化、国や自治体財政の悪化など、課題解決の難しさはより一層顕著となっています。

しかし、幸いにして小田原では、自然環境・歴史・産業・文化などの豊富な地域資源の存在に加え、深い郷土愛をもって各分野でさまざまに実践を積んでおられる「人財」に恵まれており、課題を乗り越えていくだけの十分な潜在力を持っています。直面する困難な状況を、私たちの地域が進化していく「好機」と捉え、より普遍的な解決を目指してチャレンジし、「持続可能な地域社会のモデル(さきがけとなる姿)」を創り出していきたいと考えます。

そのため、後期基本計画では特に9つの重点テーマを掲げ、この号でも列挙いたしました。健やかな自然環境に抱かれ、課題解決を担いうる人が育ち、共に支え合う社会の仕組みや文化があり、豊かな地域資源を活かした観光や産業が栄え、いのちと暮らしを支える各種制度が整い、公共インフラも適正に維持され、しっかりした基礎自治体の姿が実現している……。理想論ではなく、小田原なら実現できる近い将来のありようです。高い志を共有し、具体化を進めていきましょう。

※実施計画事業全652事業のうち、直近の事務事業評価において達成度判定対象となった事業数です。

⑦重要なまちづくり案件の適切な実現

土地利用・再開発・施設整備などについて、まちづくり方針との整合性や財政負担に配慮し、民間の力が発揮されるよう、整備と推進を行います。

【主な取り組み】

- 小田原駅・小田原城周辺のまちづくりの推進
- まちなかのにぎわい創出や回遊性向上に向けた、まち並みづくりの推進



⑧インフラ・公共施設の維持と再配置

社会インフラは着実に修繕・更新を進め、公共施設の更新や改修、建て替え、維持修繕や再配置などの整備を進めます。

【主な取り組み】

- 上下水道・道路・橋りょうなどの社会インフラの着実な修繕・更新
- 公共施設再編に向けた計画策定と老朽化施設の長寿命化の取り組みの推進



⑨基礎自治体としてのあり方の見極め

小田原市と南足柄市で合併や中核市への移行、新たな広域連携体制の構築について検討・協議し、未来を担いうる権能を備えた基礎自治体への進化を目指します。

【主な取り組み】

- 小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会による合併や広域連携制度の検討・協議



住吉橋の架け替え

5月9日(火)～平成30年3月末は通行できません

平成2年の復元から27年が経過した住吉橋。傷みが進んできたため、北條五代祭りの後に解体し、小田原の技術を守り伝えながら、生まれ変わります。

文化財課 ☎33-1718

QRコード P22087

伝統的木工技術で復元

史跡整備の一環として、江戸時代当時の橋を復元した住吉橋。反りがあり、伝統的木橋の特徴を持つ橋なので、その復元には、知識と高い技術が必要でした。

伝統的木工技術を持つ小田原の職人は、太く長い木材や曲がった木材、年輪の密な大径木だいけいぼくなどを用い、発掘調査成果や絵図などを基に忠実に再現。平成2年に復元されました。

架け替えに向けて

これまで修繕しながら維持してきた住吉橋ですが、復元後27年を経過して、傷みが進んでいます。

市では、橋を架け替えることとし、昨年度から実物大の設計図の製作や材料確保、製材・加工など、準備を進めています。

今年の「北條五代祭り」終了後の5月9日(火)から解体し、架け替え工事に着手します。

新しい橋は、平成30年3月末に完成する予定です。

継承される技術

後継者不足や工事・復元機会の減少により、全国的に伝統的木工技術の継承が課題となっています。

今回の架け替え工事には、国選定保存技術「建造物木工」の知識と技術を持つ、小田原の職人が携わりま

す。平成2年の復元時に続き、住吉橋の架け替えとともに、小田原の技術が守り伝えられていきます。



現在の住吉橋



材料となる、手入れの行き届いたひのきの大木(奈良県)小田原の木材も部分的に使う



通行できません
架け替え工事期間中は、住吉橋を渡ることができません。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



新 (平成 29 年度)



旧 (平成 28 年度)

○○○○○○○○ … 変更がある課・室、係

新 (平成 29 年度)		旧 (平成 28 年度)	
企画部	企画政策課 <ul style="list-style-type: none"> 企画政策係 政策調整係 行政管理・監察係 広域政策係 公共施設マネジメント課 <ul style="list-style-type: none"> 施設活用係 施設保全係 情報システム課 <ul style="list-style-type: none"> 情報システム係 	検査室	検査係
企画部	企画政策課 <ul style="list-style-type: none"> 企画政策係 政策調整係 行政管理・監察係 広域政策係 行政管理課 <ul style="list-style-type: none"> 行政管理・監察係 施設活用係 情報システム課 <ul style="list-style-type: none"> 情報化係 システム管理係 	企画部	企画政策課 <ul style="list-style-type: none"> 企画政策係 政策調整係 広域政策係 行政管理課 <ul style="list-style-type: none"> 行政管理・監察係 施設活用係 情報システム課 <ul style="list-style-type: none"> 情報化係 システム管理係
総務部	管財課 <ul style="list-style-type: none"> 管財係 土地係 契約検査課 <ul style="list-style-type: none"> 契約係 検査係 	総務部	管財契約課 <ul style="list-style-type: none"> 管財係 土地係 契約係
文化部	文化政策課 <ul style="list-style-type: none"> 文化政策係 文化交流係 芸術文化創造係 市民ホール整備係 	文化部	文化政策課 <ul style="list-style-type: none"> 文化政策係 文化交流係 芸術文化創造係 芸術文化創造センター整備係
福祉健康部	高齢介護課 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者福祉係 地域包括支援係 介護予防推進係 介護給付係 介護認定係 障がい福祉課 <ul style="list-style-type: none"> 障がい福祉係 障がい給付係 障がい者支援係 	福祉健康部	高齢介護課 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者福祉係 地域包括ケア推進係 介護給付係 介護認定係 障がい福祉課 <ul style="list-style-type: none"> 障がい福祉係 障がい給付係 障がい者支援係 障がい児通園係
子ども青少年部	子育て政策課 <ul style="list-style-type: none"> 子育て政策係 手当・医療係 こども相談係 つくしんぼ教室係 保育課 <ul style="list-style-type: none"> 保育係 保育施設係 [保育所] 	子ども青少年部	子育て政策課 <ul style="list-style-type: none"> 子育て政策係 手当・医療係 こども相談係 保育課 <ul style="list-style-type: none"> 保育係 子育て支援新制度推進係 [保育所]
経済部	観光課 <ul style="list-style-type: none"> 観光振興係 小田原城総合管理事務所 <ul style="list-style-type: none"> 計画係 管理係 	経済部	観光課 <ul style="list-style-type: none"> 観光振興係 城址公園係
都市部	都市計画課 <ul style="list-style-type: none"> 都市計画係 市街地・拠点施設整備係 広域交流拠点整備係 まちづくり交通課 <ul style="list-style-type: none"> まちづくり係 交通政策係 景観係 	都市部	都市計画課 <ul style="list-style-type: none"> 都市計画係 交通政策係 景観係 拠点施設整備課 <ul style="list-style-type: none"> 拠点施設整備係 広域交流拠点整備係
建設部	建築課 <ul style="list-style-type: none"> 市営住宅係 建築係 設備係 	建設部	建築課 <ul style="list-style-type: none"> 市営住宅係 建築係 設備係 施設計画係
教育部	教育総務課 <ul style="list-style-type: none"> 総務係 放課後子ども係 学校安全課 <ul style="list-style-type: none"> 保健係 給食係 学校施設係 	教育部	教育総務課 <ul style="list-style-type: none"> 総務係 施設係 保健給食課 <ul style="list-style-type: none"> 保健係 給食係

平成29年度組織・機構

新旧対照表

4月1日から
市役所の新しい組織・機構

問 企画政策課 ☎ 33-1253

※変更がある組織のみ掲載しています。
※新しい課なども含め、市役所の電話番号は、広報小田原5月号でお知らせします。

5月3日(祝) 第53回小田原北條五代祭り

問 観光協会 ☎22・5002 観光課 ☎33・1521



小田原の礎を築いた北条五代をしのいで行われます。

今年の見どころ

合田雅吏さんが早雲役に！

小田原ふるさと大使の合田雅吏さんが、初代当主の北条早雲役として武者隊の先頭を切ります。



凛々しい騎乗姿は必見！

有料観客席を用意！

銅門特設ステージを正面に見る位置に、観客席を用意します。

受付 当日午前10時30分から現地(下記マップ参照)で(先着順)。

料金 1脚500円

※当日はパレードコース周辺に交通規制がかかるので、公共交通機関をご利用ください。



20万人が訪れる全国屈指の武者行列



総勢約1,700人が市内を練り歩く

パレードのコース



なりわい交流館でのイベント

小田原ちようちん製作体験

時間 午前10時～午後3時30分

費用 1000円

手裏剣体験

時間 午前10時～午後4時

費用 200円(小学生以下1000円)

相洋高等学校による和太鼓演奏

時間 午後0時30分～0時50分

スタンプラリー

5か所のポイントで北条五代のスタンプを集め、記念品と交換しよう！

ポイント 常盤木門、いろいろな駐車場、なりわい交流館、陶彩ぎや

らいい(松崎屋陶器店)、駅前臨時案内所

前臨時案内所

記念品交換所 駅前臨時案内所、

ハルネ小田原、

祭り本部他

中止の場合

荒天などで中止する場合は、当日の午前7時30分から電話(22・5002)、J:COMチャンネル小田原(地デジ11チャンネルデータ放送)、FMおだわら(78・FMH)でお知らせします。詳しくは、観光協会ホームページをご確認ください。

Web

<http://www.odawara-kankou.com/>

同時開催イベント

小田原城北條六斎市

問 小田原市商店街連合会

☎22・5961

日程 5月2日(火)～6日(土)

時間 午前10時～午後6時

場所 城址公園一の丸広場

内容 飲食・物販ブース

小田原城名物市

問 産業政策課 ☎33・1515

日程 5月3日(祝)・4日(祝)

時間 午前10時～午後5時

場所 城址公園一の丸広場

内容 本市や友好都市の名産品、飲

食物の販売

城山陸上競技場リニューアル!

☎ スポーツ課 ☎ 38-1148
 P20565

昨年9月からの改修工事を終え、城山陸上競技場が4月1日にリニューアルオープンします。

さまざまなスポーツを快適に

芝生が新しくなり、陸上競技だけでなく、ラグビーやサッカーなどでも利用できるようになりました。



※芝生の張り替えと、円盤・ハンマー投げ用の囲いの整備は、スポーツ振興くじ（totto）の助成を受けています。



円盤・ハンマー投げ用の囲いも新しくなりました



設備が充実



これまでより照明が明るくなり、夜間でもさらに快適に利用できます。また、トイレやシャワー室なども改修し、きれいになりました。

ラグビーイベントを開催!

☎ 企画政策課 ☎ 33-1379

リニューアルオープンを記念して、トークイベントと誰でも参加できるラグビー教室を開きます。

日時 4月30日(日)

午前10時30分～午後3時

場所 城山陸上競技場

講師 ショーン・ホランさん

(元)ニュージーランド女子セvens代表ヘッドコーチ

後藤翔太さん

(元)日本代表

来月号から「広報小田原」が変わります

☎ 広報広聴課 ☎ 33-1262
 P21769

市では、行政情報を効果的に発信し、市民が容易に入手できる環境づくりに取り組んでいます。

これまでよりも「読みやすい」「分かりやすい」「手に取りやすい」広報紙を目指し、広報紙をリニューアルします。

発行回数は月1回で、自治会配布!

これまで月2回(1日・15日)発行してきた広報紙を、月1回(1日)の発行にします。

これに伴い、新聞折り込みによる15日号(おだわらいふ)の配布がなくなり、自治会を経由した配布のみとなります。

紙面が大きくなる!

広報紙の大きさは、これまでのA4判から、約2倍のタブロイド判に変わります。写真やグラフを大きく使うことができ、より読みやすく、分かりやすい広報紙を目指します。

A4判とタブロイド判の大きさの比較



いろいろな場所で手に取れる!

配架場所を拡充しています。

市内配架施設一覧

市役所、公共施設、郵便局、駅(早川駅・根府川駅・緑町駅を除く)、セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート(2部店舗除く)、ミニストップ、小田原百貨店、相鉄ローゼン、西武小田原店、フレスポ小田原シティーモール

音訳・点訳版も!

視覚障がい者向けに、音訳・点訳した広報紙を製作しています。詳しくは、お問い合わせください。

ミニ・壁屋まつり

主催・問 壁屋総本舗 ☎44-4656((同)まち元気小田原内)

日時 4月2日(日)

午前11時～午後4時

内容 手作り布小物、アクセサリー
などの販売やワークショップ

※毎月第1日曜日開催。



ねこストラップ

生産者による春の花苗対面販売会

主催・問 JAかながわ西湘 農産物直売所 朝ドレファ〜ミ♪
☎23-3100

日時 4月8日(土)・15日(土)・22日(土)

午前10時～午後4時

内容 花苗の販売



前回の販売会のようす

からくりパズルマーケット

主催・問 小田原・箱根「からくりパズル」を広める会

☎32-3631((有)からくり企画内)

日時 4月8日(土)午前11時～午後6時

内容 伝統的なからくり細工や新しいからくりパズルを実
演・販売

※毎月第2土曜日開催。



祭りだ!木遣りだ!小田原流!

共催・問 松原神社明神會、新宿お囃子会

☎090-3349-3489(里見)

日時 4月29日(祝)午後1時～1時40分

内容 神輿の小田原担ぎや木遣り、小田原囃子の紹介 など



ハルネギャラリー展示予定

関東学院大学 国際研究研修センター開設記念『材表研ミュージアム』... ~4月14日(金)
春のおだわら邸園さんぽ 4月15日(土)~5月22日(月)

☎☎ 小田原地下街「ハルネ小田原」ホームページ <http://www.harune-odawara.com/>

2015年から3年連続で日本サーフィン連盟の強化指定選手に選ばれ、昨年、プロデビューを果たした18歳のサーファー・鈴木姫七さん。
お父さんの影響で10歳からサーフィンを始め、ほぼ毎日、酒匂の海岸で練習を続けています。今年1~2月にはハワイで武者修行。見据える先は「世界」です。
「日本の大会で勝っても、まだまだ世界じゃ勝てない。『量より質』の練習を心掛けて、世界の舞台で勝ちたい」
現在、照準を合わせているのは、5月にフランスで行われる世界大会。
「2020年の東京オリンピックには出場したいけれど、まずは目の前は」



2017年日本サーフィン連盟強化指定選手

キラリ若人 酒匂の海から、世界へ

連載

鈴木姫七さん



「酒匂の波は海外の波に似ている。技を決めるのが難しい」

大会でよい成績を残したい」
世界で活躍するため、今春から練習の拠点を千葉県・釣ヶ崎海岸に移し、サーフィンと通信制大学での勉強を両立させる新生活が始まります。
「釣ヶ崎海岸は東京オリンピックの会場で、昔から波が好きな場所。もちろん、小田原にも帰ってきますよ」
潮風に笑うサーフィン界期待の新星は、酒匂の海から世界に飛び出します。

〈連載〉

知りたい！ 広めたい！ 地域自慢

24

みんなが「知りたい！」「広めたい！」地域の自慢を紹介します。

上府中地区

市の北東部に位置し、東側にJＲ御殿場線、西側に国道255号、南側に小田原厚木道路が通る上府中地区。森戸川が流れ、田園風景が広がる自然環境に恵まれた地区内には、小田原球場がある上府中公園など、大型公共施設があります。



サロン活動のようす

「明るく安全で安心な住みよいまち」を目指して

平成27年8月に「上府中地区まちづくり委員会」を設立。「文化・教育」「健康・福祉」「生活環境・地域振興」の3つの分科会に分かれ、活動しています。

健康・福祉分科会では、昨年度から地区内の全自治会でサロン活動を開始。歌や手芸、将棋などを楽しむ憩いの場として、多くの高齢者が訪れています。

また、毎月1回、全分科会合同の会議を開き意見交換することで、委員会全体の活動がより活発になっています。

まちづくり委員会全体で力を入れているのが、千代小学校・千代中学校への支援です。

学校運営がよりスムーズになればよいと思い、小・中学校と地域が連携し、課題の解決や夢の実現に向けて、定期的な情報交換なども行っています。

また、将来の担い手である子どもにも地域を知ってもらうため、関心・興味を持ちやすいよう工夫した防災訓練や敬老行事、郷土の歴史などに関するイベントも行いました。今年度は、森戸川の清掃や農業体験も行いたいと考えています。

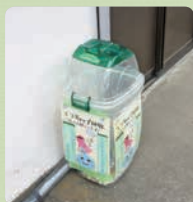
これからも、自然環境や住環境を守りながら、地域のさらなる活性化に向けて活動していきます。

上府中地区には、奈良・平安時代に古代東海道沿いにあつたとされる千代寺院の跡など、多くの史跡が残っています。

西大友の盛泰寺には、幕末から明治時代にかけて、札幌の開拓に携わった大友亀太郎の墓があります。西大友の農家に生まれた亀太郎は、二宮尊徳に師事。20歳代半ばで北海道に渡り、函館・石狩平野の開拓を指導しました。人々に「百万両の大事業」と言われ、開削した用水路「大友堀」(現在、札幌市にある「創成川」)は、亀太郎の功績によるものです。

小田原に戻った亀太郎たちにより明治6(1873)年、旧矢作村の春光院に「九思館」(現在の千代小学校)が開かれ、この地域における小学校教育が始まりました。さらに、明治9(1876)年には「九思館」を千代に移転させ、校舎の建設に尽力しました。

郷土の偉人 大友亀太郎



千代中学校の生徒と協力して設置した、ペットボトルキャップの回収箱



沖山 明さん



千代寺院跡



亀太郎の墓



延ばせ—健康寿命

脳血管疾患死亡率が高い小田原市。
あなたやあなたの家族を守るのは、暮らしの中のちょっとした心掛けです。
ここでは、今日から生かせる予防法など、お役立ち情報をお届けします。

☎健康づくり課 ☎47-0820

健康応援レシビ

脳血管疾患を予防するためには、塩分を控えた料理を食べることが大切です。

優秀賞

「まごはやさしい」小田原セット

野口友美さん

和食の食材は、体に必要な栄養素を理想的に含みます。「まごはやさしい」(ま→豆、ご→ごま、わ→わかめや昆布などの海藻、や→野菜、さ→魚、し→しいたけやしめじなどのきのこ、い→芋)を使いました。



材料(4人分)

- ・味噌 大さじ2と1/4
- ・しいたけ(薄切り) 2枚
- ・しめじ(小房に分ける) 100g(1/2房)
- ・えのき(3cmに切る) 100g(1/2房)
- ・里芋(半月切り) 2個
- ・にんじん(半月切り) 40g
- ・油揚げ(1cmに切る) 1/2枚
- ・さつま揚げ(1cmに切る) 小2枚
- ・ごま油 大さじ1/2
- ・酒 大さじ1
- ・かつお・昆布だし汁 700cc
- ・青ねぎ(小口切り) 1本
- ・すりごま 小さじ2

作り方

- ① 鍋にごま油を熱し、しいたけ、しめじ、えのきを炒め、酒を加えて絡める。
- ② ①にだし汁、里芋、にんじん、油揚げを入れて、里芋やにんじんが柔らかくなるまで煮る。
- ③ ②にさつま揚げを加え、2~3分煮たら、火を止めて味噌を溶き入れる。
- ④ 再度熱し、温まったら器によそい、青ねぎとすりごまを振りかける。

第12通 「健康具だくさん 味噌汁コンテスト入賞作品」

(協力：小田原食品衛生協会)

市民の食生活の傾向

平成25年に実施した栄養調査から、小田原市民は塩分摂取量が多く、菓子類・嗜好飲料を好み、野菜が少ない傾向にあることが分かっています。健康でいるためには、自然の恵みを感じて食べ、摂取した栄養を「生きる力」につなげることが大切です。日頃から、塩分を控えた食生活にしましょう。

「健康具だくさん 味噌汁コンテスト」

昨年度開催した「健康具だくさん味噌汁コンテスト」には、幅広い年齢層から51作品の応募があり、5作品が入賞。最優秀賞は、広報小田原1月1日号で紹介しました。今回は、その他の入賞作品4作品を紹介します。

【優秀賞】

デザインこねこ株式会社
「手軽」をテーマに、さまざまなしの「粉末」で味を補いました。オフィスでも湯を注ぐだけで、減塩味噌汁を飲むことができます。



足柄茶を使った、繭と下中たまねぎのお味噌汁

【市長賞】

石井章子さん

小田原漁港で水揚げされたカマスを使用しました。自分が好きな甘酒やかす汁を使っ



ほろ酔いカマととスープ

【小田原食品衛生協会会長賞】

海野菜里さん
岩上百合さん

とろろ昆布などトロみのある食材で、免疫力アップを目指しました。そうめん、卵野菜を入れ、味噌汁だけでバランスのよい食事になります。



とろみ最高!心も体もホッカホカお味噌汁

連載「健康だより」は、今回が最終回です。ご愛読ありがとうございました。

0465-33-21828



新しい小田原をイメージする市のブランドロゴとして、小田原の多様な素材を用いてデザインしています。

発行：小田原市 〒250-8555 小田原市荻窪300番地 市役所総合案内 ☎0465-33-1300
編集：企画部広報広聴課 ☎0465-33-1261 FAX0465-32-4640 ©小田原市2017・4
広報小田原は、資源保護のため再生紙を使用しています。
3月1日現在 小田原市の人口 193,076人 80,140世帯